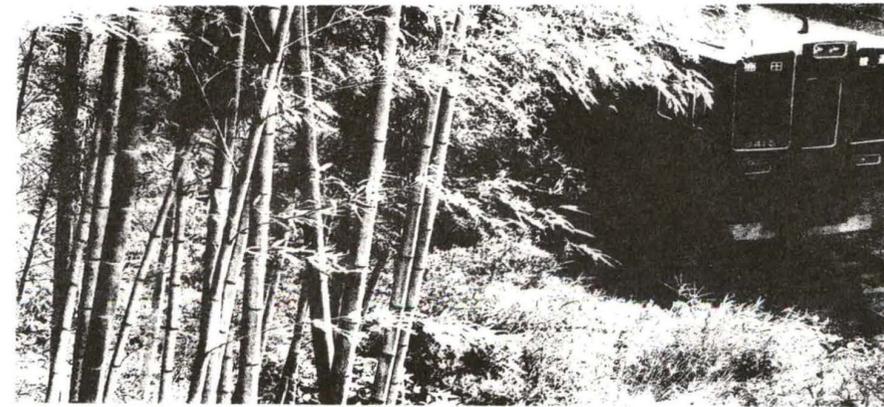


二十回生樺山(三笠)翠さんから8月30日付朝日新聞夕刊のコピーをお送り頂きました。

プラット沿線紀行 63回「阪急千里線」です。お手紙に千里線ではなくて千里山線と呼びたいとありましたが全く同感、「丘の上に咲いた文化の華」と大きく題が付けられ、千里山の今昔がとても魅力的にまとめられています。

ここでご紹介出来ないのが残念ですが、薄暮の噴水の写真には樺山さんの「こんなにかいかしら、プロが撮ったどこの町かと思えますね」の感想がありました。見づらいたのですが昭和二十五年の閉園迄の間に千二におられた方々には懐かしい千里山遊園の飛行塔の貴重な写真、待ってる人が全然いなくて、係の人がサービスしてくれたのか、普通の何倍もの時間、上がったままぐるぐる回り続け、怖くなったのを思い出します。下の竹藪と電車の写真は樺山さんによると、千里山から南千里の方へ少し行ったところ、線路の上の橋から撮ったものではないか、とのことです。

(奥田記)



はいからさんが通った

63 阪急千里線

「はいからさんが通った」は、昭和二十五年の閉園迄の間に千二におられた方々には懐かしい千里山遊園の飛行塔の貴重な写真、待ってる人が全然いなくて、係の人がサービスしてくれたのか、普通の何倍もの時間、上がったままぐるぐる回り続け、怖くなったのを思い出します。下の竹藪と電車の写真は樺山さんによると、千里山から南千里の方へ少し行ったところ、線路の上の橋から撮ったものではないか、とのことです。

「はいからさんが通った」は、昭和二十五年の閉園迄の間に千二におられた方々には懐かしい千里山遊園の飛行塔の貴重な写真、待ってる人が全然いなくて、係の人がサービスしてくれたのか、普通の何倍もの時間、上がったままぐるぐる回り続け、怖くなったのを思い出します。下の竹藪と電車の写真は樺山さんによると、千里山から南千里の方へ少し行ったところ、線路の上の橋から撮ったものではないか、とのことです。

阪急千里線 丘の上に咲いた文化の華

大阪府吹田市の北部から豊中市にかけて、かつて標高約100メートルの高台に広がる丘陵地帯に、かつては「千里山」と呼ばれていた。一帯は千里山と呼ばれていた。

阪急千里線の前身は、当時の北大阪電鉄によって1921(大正10)年に開業した千里山線。現在は天神橋筋丁目(大阪市北区)から千里(吹田市)の13.6キロを普通電車が結ぶ。丘陵地帯を北千里行きは平均時速38.3キロで走らなければならない。



開業当初は花壇前駅、北大阪電鉄は近くの丘に、桃の花が楽しめる「千里山花壇」を造成した。その後、飛行塔などの遊具も備えた遊園地に改装し、98年に千里山遊園駅に変更。元中学教諭の武田卓さん(83)は「浴衣を着て、野外音楽堂へ無声映画を見に行くのが楽しかった。辺りにはホテルも飛んでいた」と子どものころを懐かしむ。

戦争が激しくなる中、「遊園」とは不謹慎だと軍に注意され、48年に千里山遊園駅に、戦後の48年に千里山遊園駅が復活したが、客足が戻らず園は50年に閉鎖された。

その後、跡地に宗教法人が女子校を置く構想が持ち上がった。女子学院前駅になったが、慌てた関西大が土地を買収し、51年には花壇町駅に、北400メートルに開業時からあった大学前駅と64年に統合された。中間地点に現在の関大前駅ができた。

天神橋筋商店街は延長2.6キロで国内最長、千里ニュータウンは国内初の大規模新興住宅地。67年に世界初の自動改札機が千里山線に設置され、70年には園内の万博開催……沿線には「トンパル1」が、いまも千里山の歴史の関大前駅を前を回る回廊の「これぞ日本一」といって、駅名の由来は時代を照らし出している。

千里山住宅地の誕生から80年以上、英国風の優雅な家は数えるほどになり、当時の様子を知る住民も少なくなった。

そんななか、レッチワースで一番人気のバブ「アリーナタワー」の支店が01年、噴水近くに開業した。経営するミク・インシトさん(46)は「街から英国の薫りが消えていく。ルーツを取り戻したい」との思いから本店へ移業し、かつて「のれん分け」をしてもらった。内装も料理も本店とそっくりだとか。

関西大の学生らは今年4月、インターネット上に「千里山大正ロマン電脳博物館」を開発し、大学や住民が所蔵する写真などで往時の姿を紹介している。企画に立ち上がった大学院生の渡部奈央さん(23)はゼミ教員の研究で千里山の歴史を知り、「ハイカラな街を造った大正時代の理想の高さに感動した」という。

街の生い立ちを知れば、愛着がわく。そんな人が増えれば、今も園内に竹林が残る田園都市は魅力を見失わないだろう。

文 高崎 勇作
写真 寺脇 毅



千里山駅の南にある千里寺の本堂はユニークだ。もとは昭和天皇の即位大礼の際に京都御苑に建てられた宴会場。関西大へ移築されて道場などに使われた後、1953(昭和28)年に寺へ移った。酒宴が開かれたばかりにシャンテリアがある。噴水とロータリーは駅の西約50米。坂道を上ること約10分で千里山神社。ここが標高11.84の千里山の頂上だ。

プレゼント
関大前駅近くに本店がある洋菓子店「メランジュ」は素材にこだわる 果物、ワイ

お書き添えの上、〒530-8064 郵便事業会社大阪支店私書箱87号 朝日新聞「ぷらっと沿線紀行」係へ、9月5日必着。